

ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

タイトル: 「日本の醜さについて ～都市とエゴイズム」

棚: A31
請求記号: S518.8 1/

著者: 井上 章一 出版社: 幻冬舎 (2018年5月)

「和の精神」は日本文化の美点として取り上げられます。しかしながら、「日本の街並は何故こうまで、周りと調和しない建築が多いのか？」本書の問題提起は、素晴らしい一言です。

「日本は木造で、西欧は石造だから…」といった建築の伝統の問題に留まりません。「景観を守りましょう (良くしましょう)」という社会の「ルール」と、「自分の土地だから、どんな建物、看板でも自由だろ。」といった個人の「エゴ」「自由」との領域の問題にまで話は及んでくるのです。本書の中では、結論は示されていません。しかし、この議論の広がりをも十分に示唆してくれます。

最近の日本文化論の書籍の中では、異色の一冊ではないでしょうか。

タイトル 「大接近!工場見学2 ガリガリ君の工場」

棚: J20~J22
請求記号: 509 幼2

構成・文: 高山 リョウ 出版社: 岩崎書店 (2017年2月)

夏といえばアイスクリームが美味しい季節です。人気アイスクリーム「ガリガリ君」を作っている赤城乳業の工場に大接近!工場では作業服や床までもガリガリ君をイメージした「ガリガリブルー」一色。アイスクリームが出来上がるまでの工程をページいっぱいの写真で楽しめます。

眺めているだけでもなんだか涼しくなりますよ。

タイトル: 「運命の騎士」

棚: 閉架書庫2
請求記号: Y933.7 卅

著者: ローズマリ・サトクリフ 出版社: 岩波書店 (1987年)

舞台は11世紀末のイギリス。孤児のランダルは人のぬくもりを知らずに育ちましたが、ある地方の領主に預けられたことにより、そこで家族と呼べる人々を得ます。

やがて動乱の時代が訪れ、彼は大切な人達を守るために奔走します。著者はイギリスの児童文学作家、ローズマリ・サトクリフ。彼女の作品の多くは歴史小説で、時代の流れに翻弄されつつも懸命に生きる人々の姿を巧みな描写力で描いています。

はたして故郷を守ろうとするランダルが行き着く運命とは…。

ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

タイトル:「あいさつできるよ」

棚: J7~J10
請求記号: E ｽｷ

著者: リチャード・スキャリー 出版社: 好学社 (2018年11月)

いつでもどこでも、ちゃんとあいさつができるぞうくんのお話です。

ともだちに会ったら「こんにちは」
何かをしてもらったら「ありがとう」

毎日を気持ち良く過ごすための本当に簡単なルールやマナーを教えてくれる心温まる絵本です。大人が読んでも癒されます。

タイトル:「タニアの
ドイツ式台所管理術」

棚: J14
請求記号: 596.9 ｶﾄ

著者: 門倉 多仁亜 出版社: 集英社 (2013年6月)

ドイツの人と聞いて私がイメージするのは、必要最低限の所持品できれいに片づけられた家で、体に良くて美味しいものを食べている夢のような人たちです。このイメージぴったりの著者が、日本とドイツ、それぞれの国の良い習慣を取り入れながら、シンプルで快適な生活を送る秘訣を紹介するこの本は、すぐにでも参考にできそうなヒントやレシピがたくさんあっておすすめの一冊です。

タイトル:「も～っとずぼらヨガ」

棚: B1~B5
請求記号: Y498.34 ｷ

著者: 崎田 ミナ 出版社: 飛鳥新社 (2018年7月)

きっちりやるのは面倒だけど、何か気になる…そんなアナタにおすすめです。
きっちりやらなくても、気が付いた時にカラダを伸ばしてリラックス&リセット
何だか気持ちも良いし、ちょっとした筋トレ気分も味わえます。
クセになってしまうかもしれません。
この機会にストレッチやヨガを取り入れてみませんか。

ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

タイトル:

「回転寿司おもしろ大百科」

出版社: 永岡書店 (2015年7月)

棚: J20~22

請求記号: 673 41

子どもにも大人にも大人気の回転寿司。そのネタの元の姿を知っていますか。この本はお魚図鑑つきで、切り身になる前のお魚がどんなだったのかを知ることができます。また、魚の状態からお寿司になるまでの流れを漁師や養殖業者のお仕事までもさかのぼり解説してくれます。さらに回転寿司店の見えない部分にどんな工夫がされているのかといったことまで、回転寿司のありとあらゆることを教えてくれます。回転寿司に行く前にぜひ、読んでみてください。きっと、会話も弾み、もっと楽しくなりますよ。

タイトル: 「からだにおいしい
魚の便利帳」

著者: 藤原 昌高 出版社: 高橋書店 (2010年6月)

棚: 閉架 2

請求記号: 498.583 73

様々な魚介類のおいしい食べ方、選び方のコツ、さらには雑学まで紹介している本です。また、読み物としてだけではなく、魚の写真もオールカラーで綺麗に掲載されているので、ページを眺めるだけでも楽しむことができます。料理本としても図鑑としても読むことができる、まさに魚の便利帳というのにふさわしいこの本、ぜひ一度ご覧になってみてください。

タイトル: 「バウムクーヘン」

著者: 谷川 俊太郎 出版社: ナナロク社 (2018年9月)

棚: A22~24

請求記号: 911.56 42

木の年輪のように年を重ねていく、大人へ向けた詩集。

この詩集の中には漢字はありません。ひらがなだけなので、一度、自分のあたまの中で音にしてから読む。その分、ゆっくりと、贅沢な読書の時間とも思えます。字体が少し丸みのあるフォントなのも、ゆっくり読むのにはまた心地よく。

私の中に今もひそんでいる子どもの言葉をかりて、と谷川さんは書いています。なるほど。まっすぐに核心をつく、でも可愛らしさも残る、谷川さんの詩。「せつな」や「しーん」が私は好きでした。